

おかげさまで



あなたとつくる 笑顔の未来

とよしん 景況調査

NO.126

2022年 1月発行

- 景況調査アンケート
(2021年10月～12月期実績 2022年1月～3月期見通し)
- 特別調査
- スポットライト ～がんばる地元企業～
(掲載企業：株式会社タケパーツファクトリー)



おたくも うちも





































豊橋信用金庫

《第126回景況アンケート調査》

総括判断

『当地区の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、先行きに不透明感が見られる。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2020年 10~12月	2021年 1~3月	4~6月	7~9月	当期実績 10~12月	来期見通し 2022年 1~3月
全業種総合	 ▲18.7	 ▲17.1	 ▲12.5	 ▲11.3	 ▲5.1	 ▲6.7
製造業	 ▲30.2	 ▲24.3	 ▲10.3	 ▲9.3	 ▲4.3	 ▲9.9
卸売業	 ▲18.5	 ▲27.9	 ▲20.0	 18.8	 ▲9.2	 ▲6.2
小売業	 ▲22.6	 ▲16.7	 ▲14.5	 ▲14.3	 ▲9.4	 ▲10.9
サービス業	 ▲14.9	 ▲16.7	 ▲15.8	 ▲13.0	 ▲6.3	 ▲6.9
建設業	 ▲20.2	 ▲11.9	 ▲15.1	 ▲14.0	 ▲9.8	 ▲8.8

《天気図の見方(DI)》



《調査要領》

調査期間

2021年11月1日(月)～11月30日(火)

調査対象時期

2021年10月～12月期実績
2022年 1月～3月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

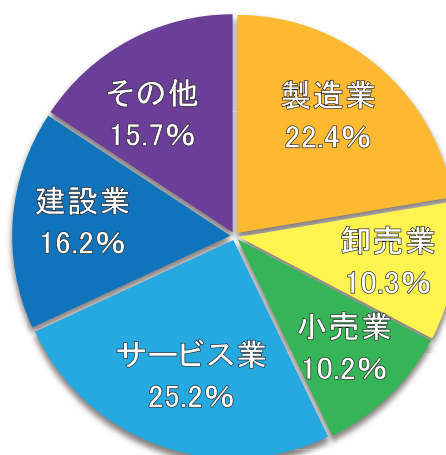
当金庫お取引先企業 630社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(630社)の内訳



全業種総合

～業況・売上・収益ともに6期連続で改善するものの、マイナス圏で推移～

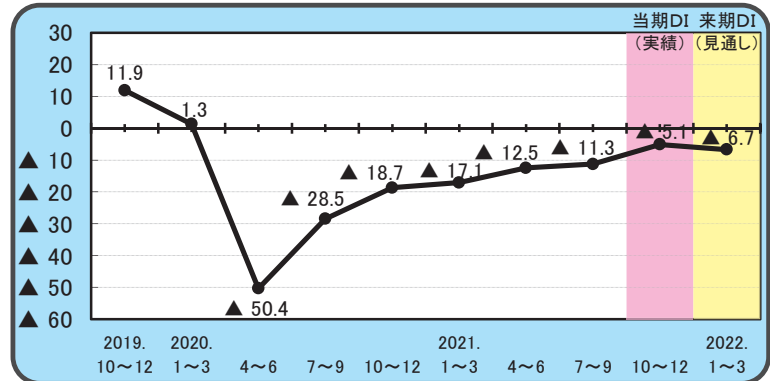
業況

【当期(10～12月)DIの実績】

▲ 5.1 (前期比+6.2ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 6.7 (当期比▲1.6ポイント)



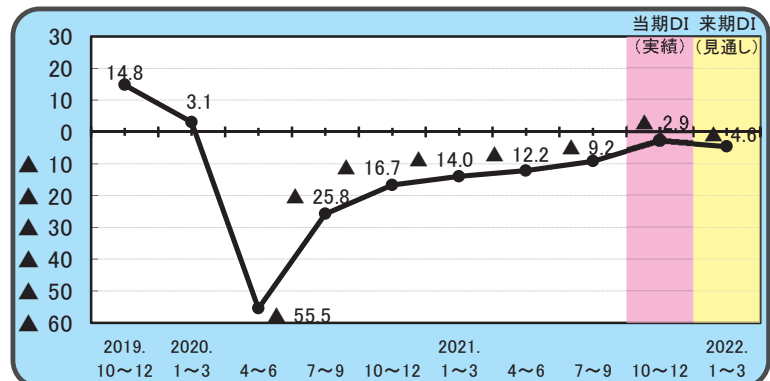
売上

【当期(10～12月)DIの実績】

▲ 2.9 (前期比+6.3ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 4.6 (当期比▲1.7ポイント)



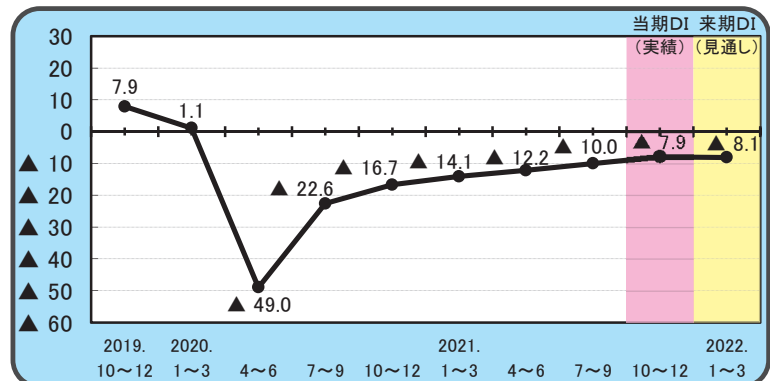
収益

【当期(10～12月)DIの実績】

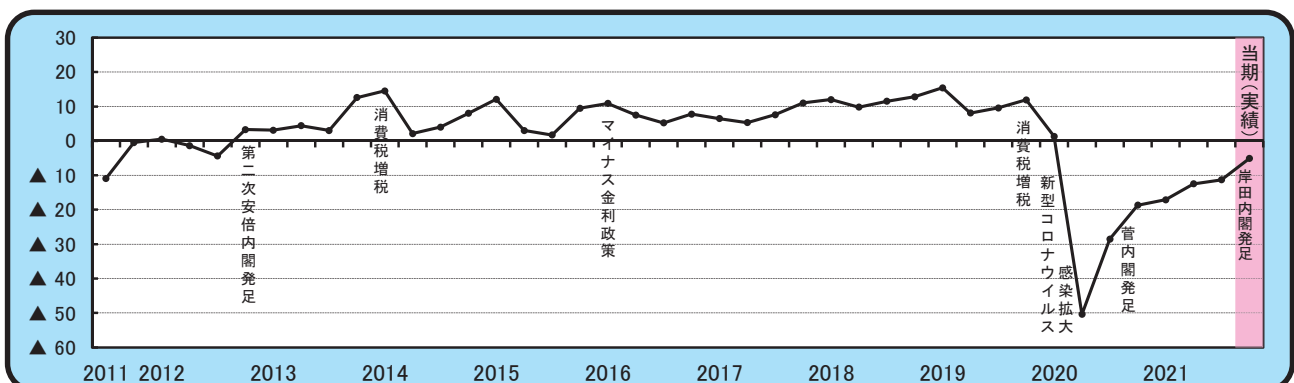
▲ 7.9 (前期比+2.1ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 8.1 (当期比▲0.2ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

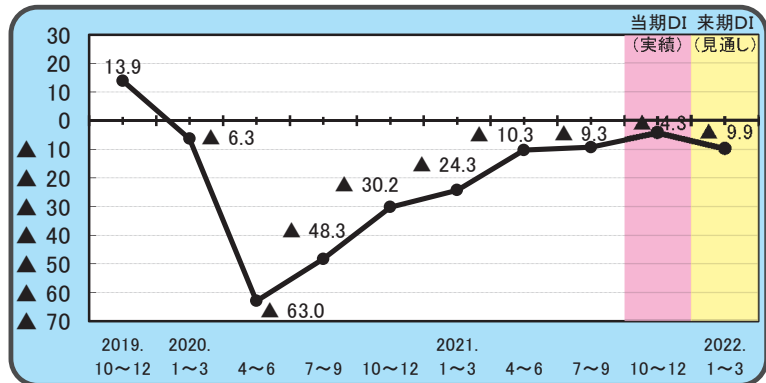
～業況・売上・収益ともに6期連続で改善するものの、マイナス圏で推移～

当期業況DI (実績) 2021年10～12月	来期業況DI (見通し) 2022年1～3月
▲4.3	▲9.9

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 4.3 (前期比+5.0ポイント)

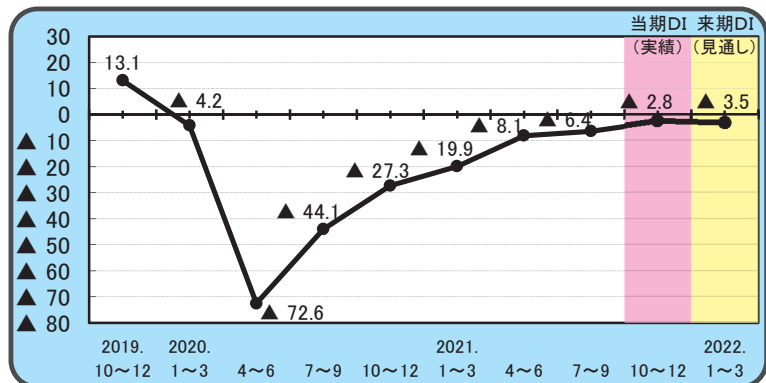
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 9.9(当期比▲5.6ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 2.8 (前期比+3.6ポイント)

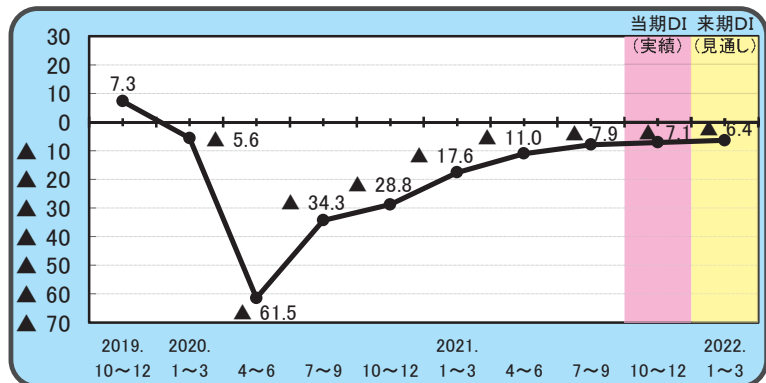
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 3.5 (当期比▲0.7ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 7.1 (前期比+0.8ポイント)



【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 6.4 (当期比+0.7ポイント)



- ・情報通信機器関連については、高速通信規格(5G)等の技術革新により、半導体の需要が拡大しているものの、供給が追いつかず、需要過多が続いている。
- ・自動車関連については、世界的な半導体不足等により、生産調整を余儀なくされている。今後は半導体不足の解消が見込まれ、生産台数の回復が期待されるものの、下請け部品メーカー等の業況回復には時間を要する。
- ・菓子製造関連については、感染状況の落ち着きから観光用の菓子も徐々に回復の兆しが見られるものの、原材料や物流コストの上昇によって収益を圧迫している。

卸売業

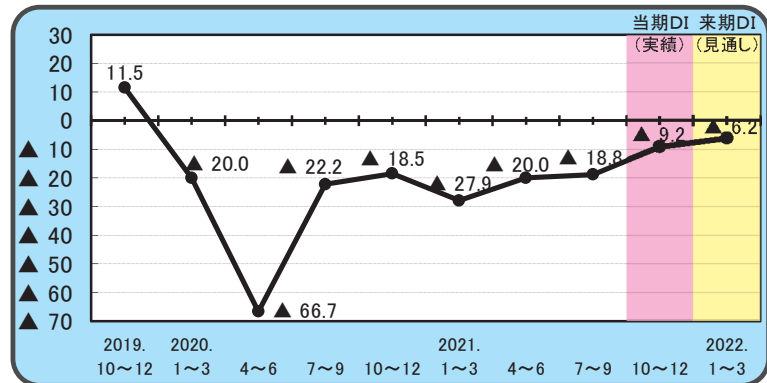
～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI (実績) 2021年10～12月	来期業況DI (見通し) 2022年1～3月
 ▲9.2	 ▲6.2

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 9.2 (前期比+9.6ポイント)

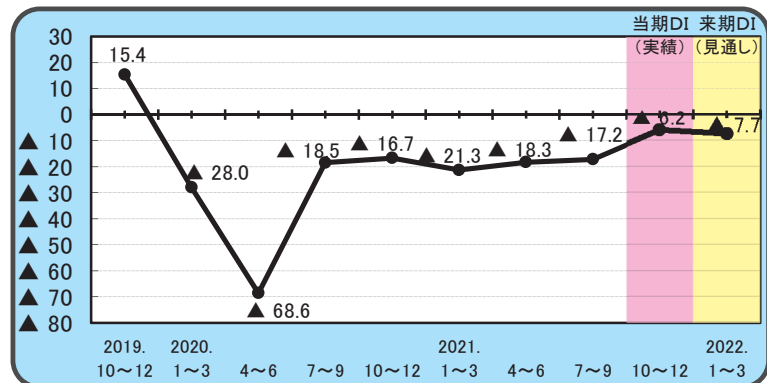
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 6.2 (当期比+3.0ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 6.2 (前期比+11.0ポイント)

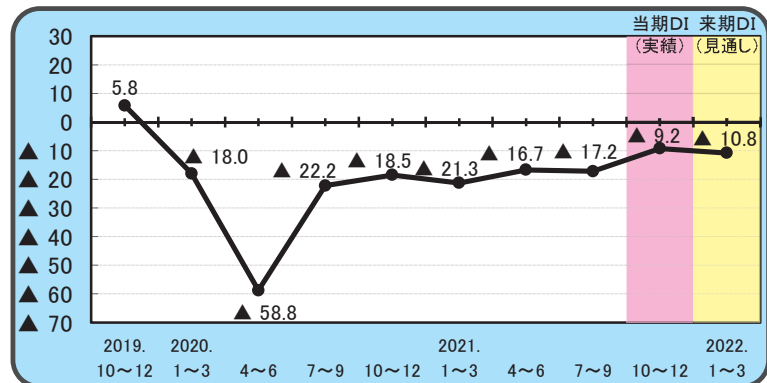
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 7.7 (当期比▲1.5ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 9.2 (前期比+8.0ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
▲10.8 (当期比▲1.6ポイント)



- ・ 建築木材卸については、ウッドショックの影響から国内木材を取り巻く環境は大きく変化している。国内木材は輸入木材の代替品として需要が高まって、国内木材価格が2～3割程度上昇しており、販売価格に転嫁する動きがみられる。今後も国内木材の需要の高まりは続く見込みであるが、人手不足の問題や伐採の整備に時間を要するため、生産性の向上が難しく、高値が続く見込みである。
- ・ 食料品関連卸については、制限解除による飲食店の稼働によって、業況は改善傾向にあるが、穀物価格の高騰を受けて、中国からの製品の値上げが収益を圧迫している。

小売業

～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI
(実績)
2021年10～12月

来期業況DI
(見通し)
2022年1～3月



▲9.4

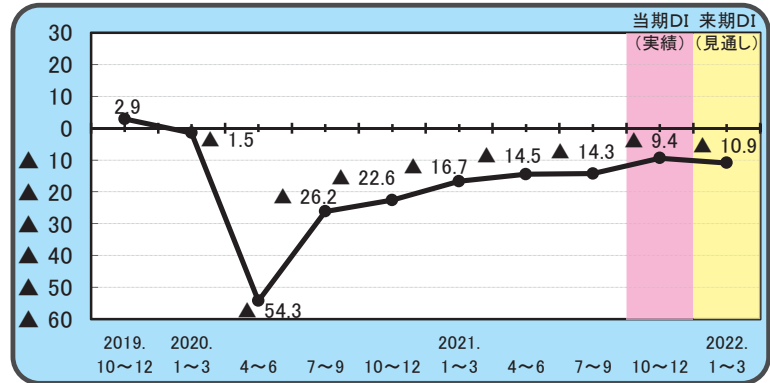


▲10.9

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 9.4 (前期比+4.9ポイント)

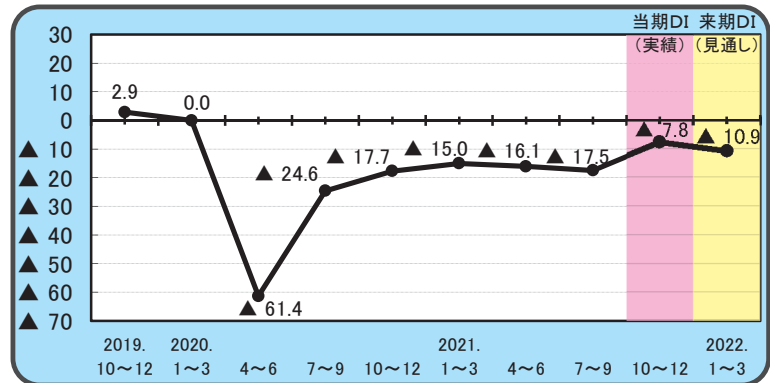
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲10.9 (当期比▲1.5ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 7.8 (前期比+9.7ポイント)

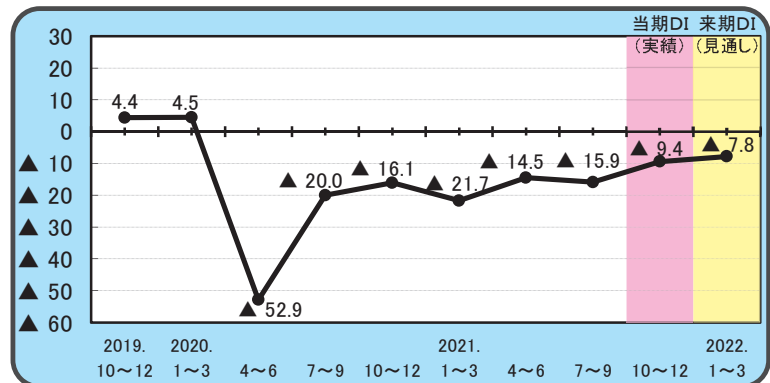
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲10.9 (当期比▲3.1ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 9.4 (前期比+6.5ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 7.8 (当期比+1.6ポイント)



- ・自動車販売業については、依然として世界的な半導体不足による減産などから、新車の納車が遅延しており、需要に対応できていない状況が続いているが、半導体不足によって設置できないオプション装備を後付けにするなど、顧客の囲い込みを図っている先もある。今後は納車時期が短くなる見込みであるが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の懸念があり、下振れリスクとなっている。
- ・中古車販売価格は、新車販売の滞りから品薄感が続き、高値で推移している。

サービス業

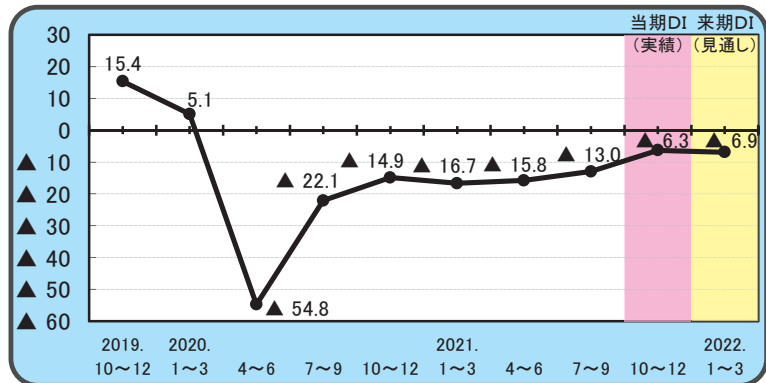
～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI (実績) 2021年10～12月	来期業況DI (見通し) 2022年1～3月
▲6.3	▲6.9

業況

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 6.3 (前期比+6.7ポイント)

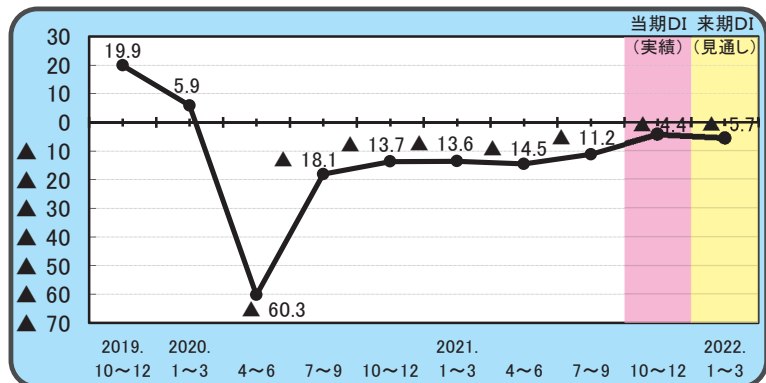
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 6.9 (当期比▲0.6ポイント)



売上

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 4.4 (前期比+6.8ポイント)

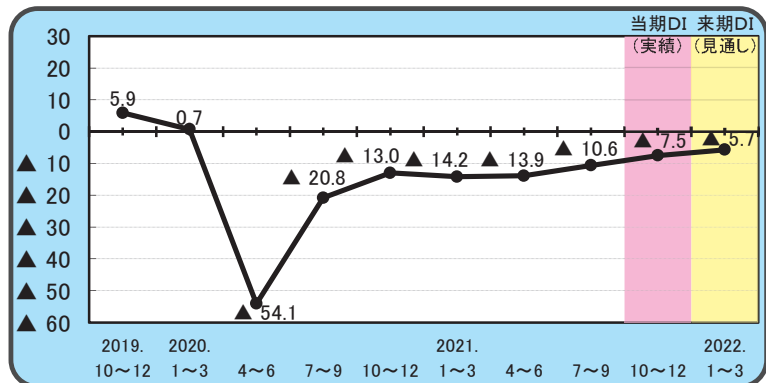
【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 5.7 (当期比▲1.3ポイント)



収益

【当期(10～12月)DIの実績】
▲ 7.5 (前期比+3.1ポイント)



【来期(1～3月)DIの見通し】
▲ 5.7 (当期比+1.8ポイント)



- ・飲食業については、緊急事態宣言の解除によって、売上は改善傾向ではあるが、仕入価格の高騰が収益を圧迫している。少人数で短時間の利用が多く、今後は団体客の宴会等の需要拡大を期待しているが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大や人手不足による労働力確保が懸念されている。
- ・ホテル・旅館業については、行動制限緩和等によって、徐々に需要が回復している。Go Toトラベルの再開等によって、更なる需要回復を期待しているものの、インバウンド需要の取込みができなければ、コロナ前の水準まで回復するのは困難である。

建設業

～業況・売上・収益ともに改善～

当期業況DI (実績) 2021年10～12月	来期業況DI (見通し) 2022年1～3月
 ▲9.8	 ▲8.8

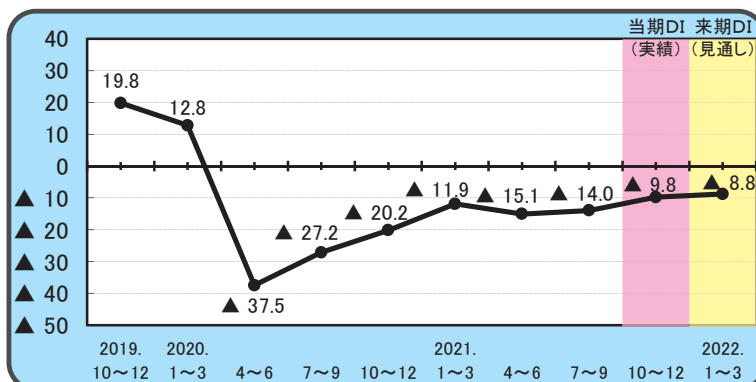
業況

【当期(10～12月)DIの実績】

▲ 9.8 (前期比+4.2ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 8.8 (当期比+1.0ポイント)



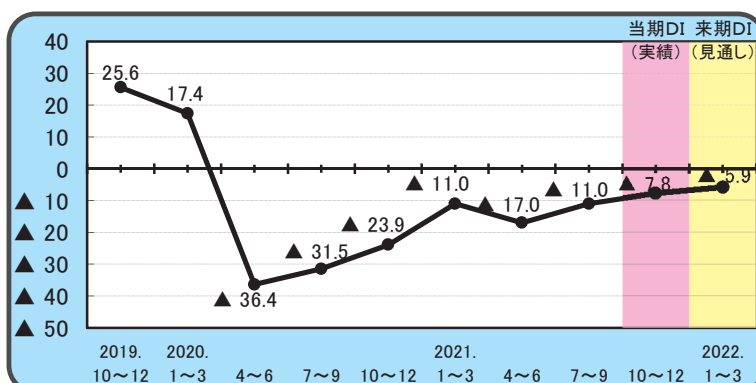
売上

【当期(10～12月)DIの実績】

▲ 7.8 (前期比+3.2ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 5.9 (当期比+1.9ポイント)



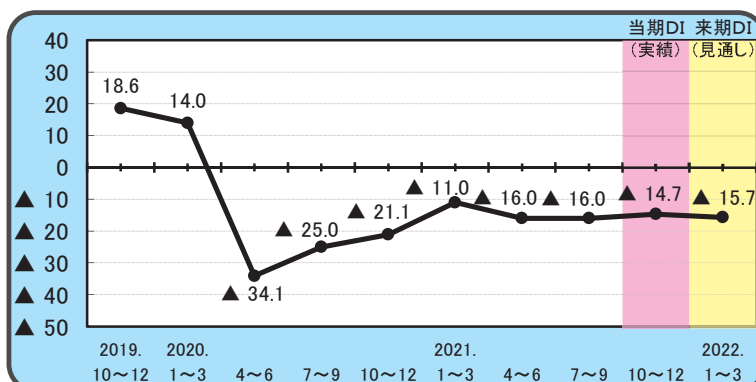
収益

【当期(10～12月)DIの実績】

▲ 14.7 (前期比+1.3ポイント)

【来期(1～3月)DIの見通し】

▲ 15.7 (当期比▲1.0ポイント)



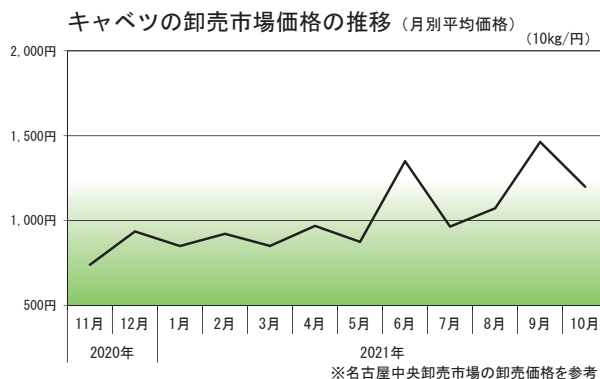
- ・建設業については、住宅や新規出店の需要が徐々に回復してきているものの、原材料・資材価格の高騰により、収益を圧迫している。住宅の需要は顕著に推移する見込みであるが、資材等の納期の遅れによって工期が長引く状況となっている。
- ・公共工事については、年度末に向けて受注増加となるが、受注競争が厳しく低価格になってきている。
- ・雇用面では慢性的な人手不足が続いており、特定技術・能力を持つ人材の確保が急務であり、人材を確保するためのコストが上昇している。

その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

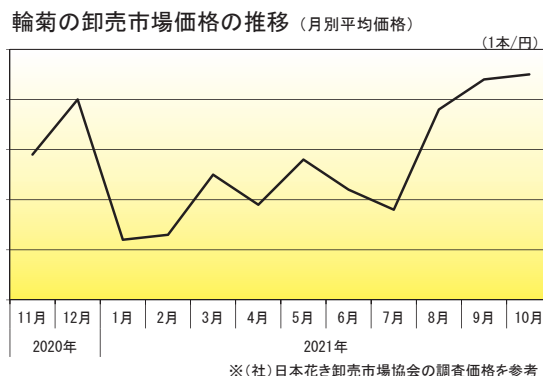
農業（キャベツ）

露地野菜のキャベツについては、8・9月は長雨の影響によって出荷量が減少していたが、10月以降は、天候に恵まれ豊作の傾向となっている。一方、外食需要の低迷を受けて供給過剰となり、価格の下落が懸念されている。



農業（輪菊）

菊については、九州地方の豪雨災害の影響を受け供給量が不安定となり、価格が上昇傾向にあるが、原油価格高騰によるコスト増加から、厳しい収益状況が続いている。一方、コロナ禍に対応する品種開発や販売方法の検討が積極的に行われている。



水産業（養鰻）

養鰻業について、静岡県が事前に実施するシラスウナギの試験採捕において、今年は捕獲数が0となった。過去最低の捕獲量であった3年前と同様の結果となったことから不漁となることが懸念されている。

運輸業

新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見られ、物流量も増加傾向にあるものの、原油価格高騰によって収益を圧迫している。また、人手不足や高齢化が深刻化しており、人材の定着と若手ドライバーの獲得が急務となっている。

不動産業

住宅販売については、住宅ローン減税に関する駆け込み需要があり、その反動が懸念されている。テナントの需要については、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の懸念はあるものの、制限や人流抑制の緩和によって徐々に回復が見込まれる。

《特別調査》

《調査要領》

調査期間

2021年11月1日(月)～11月30日(火)

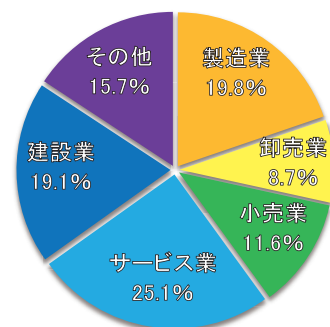
調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

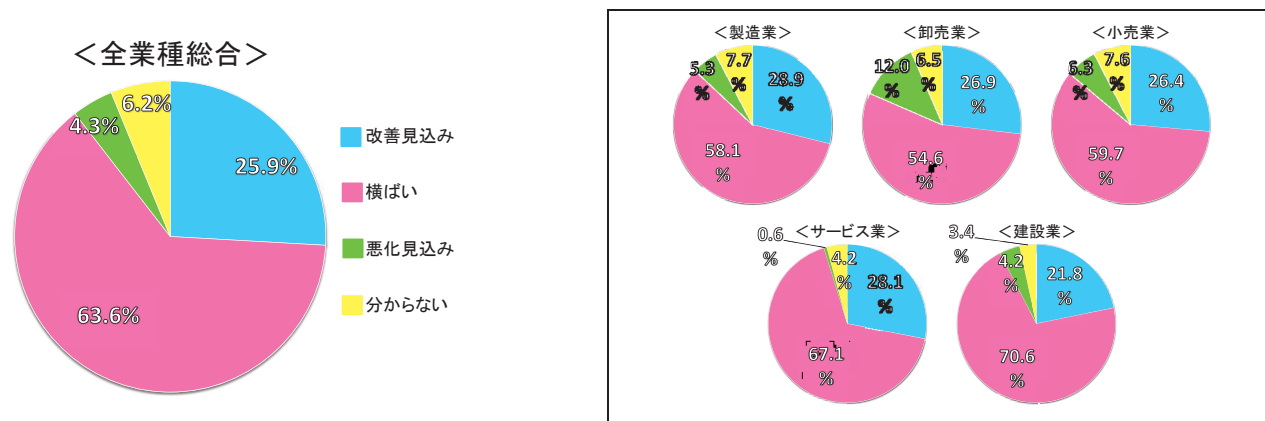
当金庫お取引先企業 1,245社

調査対象企業(1,245社)の内訳



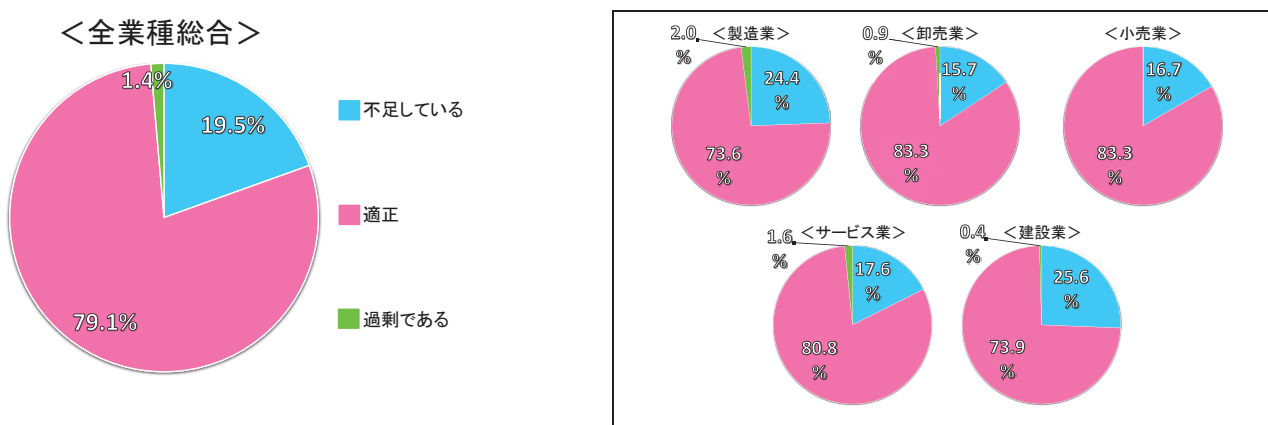
●問1. ワクチン接種が進むなか、貴社の1年後の業況をどのように見込んでいますか？

全業種総合の回答では、「横ばい」が63.6%、「改善見込み」が25.9%、「分からない」が6.2%、「悪化見込み」が4.3%となっている。



●問2. 貴社の人手の状況についてお答えください。

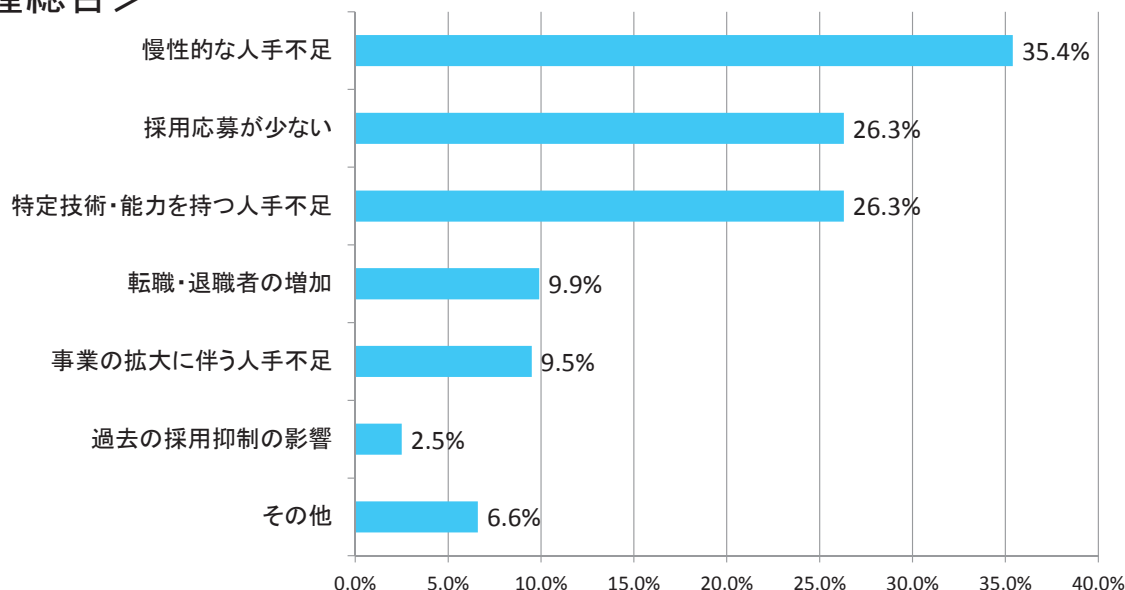
全業種総合の回答では、「適正」が79.1%、「不足している」が19.5%、「過剰である」が1.4%となっている。



●問3. 問2 で「不足している」と回答された場合、貴社において人手が不足している理由は何ですか？（複数回答）

全業種総合の回答上位では、「慢性的な人手不足」が35.4%、「採用応募が少ない」が26.3%、「特定技術・能力を持つ人手不足」が26.3%となっている。

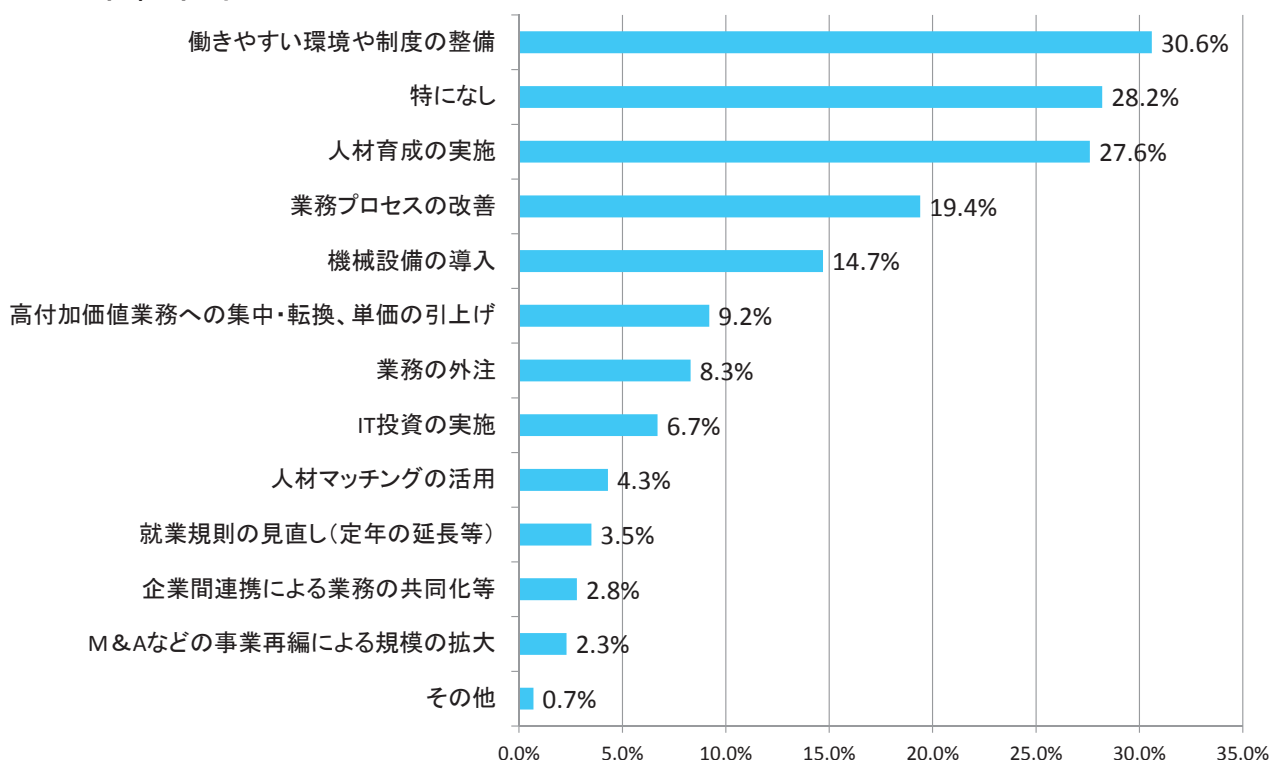
<全業種総合>



●問4. 人材確保が難しくなるなか、貴社では生産向上に向けた取組みを実施または検討していますか？（最大3つまで複数回答）

全業種総合の回答上位では、「働きやすい環境や制度の整備」が30.6%、「特になし」が28.2%、「人材育成の実施」が27.6%となっている。

<全業種総合>



スポットライト ～がんばる地元企業～



難削材を専門とするNC旋盤加工のプロフェッショナル
株式会社 **タケパーツファクトリー**

所在地：豊橋市忠興3-1-3

代表者：荒川 武

設立：2010年9月

社員数：5名

TEL：0532-88-1636



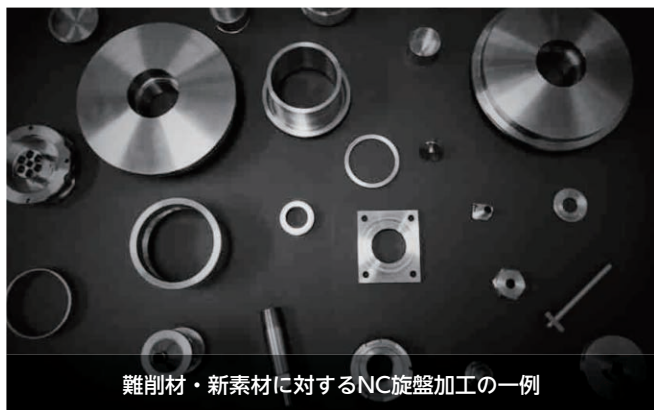
難削材・新素材を専門とするNC旋盤加工のプロフェッショナル

難削材・新素材は、ロケット、リニアをはじめ、次世代先端技術の分野で使用される素材。だからこそ、高い技術力と、日進月歩の技術開発が求められる領域でもある。大企業をはじめ、多数の中堅企業による激しい競争が繰り返される中、東三河の町工場「株式会社タケパーツファクトリー（代表取締役 荒川 武）」に、国内の大手企業やベンチャー企業の注目が集まっている。

NC旋盤で切削加工の難題を一緒に解決する町工場

株式会社タケパーツファクトリー（以下「タケパーツファクトリー」という。）は、インコネル、ハステロイ、純チタン・チタン合金などの硬い材質から銅などの軟らかい材質まで、幅広い難削材や新素材のNC旋盤加工を得意としている。社員数5名の地方の町工場ではあるが、真円度0.003mmを実現する超精密切削加工技術をコア・コンピタンスに、半導体、船舶、リニア、ロケット、航空機、防衛、自動車など、様々な分野の次世代先端技術にかかる試作開発および小ロットの量産加工を数多く受注している。

タケパーツファクトリーは、大手企業、同業他社で加工が出来ない丸物金属部品加工の相談に対して、資源掘削、原子力分野において10年以上の加工実績から培った独自技術で解決している。「NC旋盤で切削加工の難題を一緒に解決する町工場」としての地位を確立し、常に次世代先端分野の技術革新に挑戦し続ける世界最高水準の超精密切削加工技術を有する旋盤屋として、国内でも稀有な存在である。



難削材・新素材に対するNC旋盤加工の一例

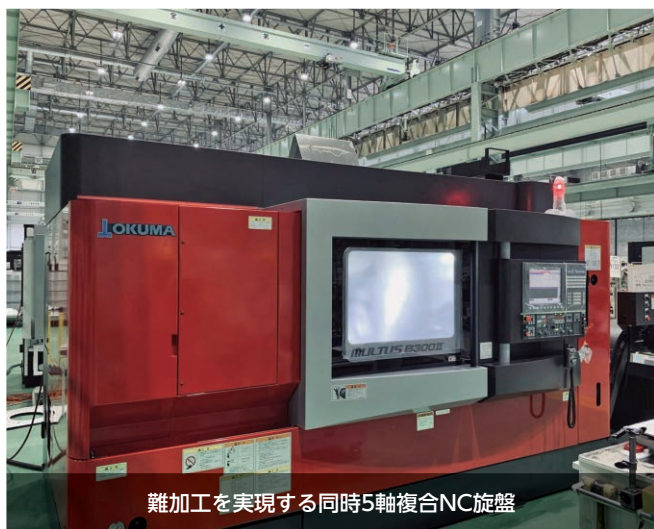
自社加工で培ってきた加工技術は「知財」の集積

タケパーツファクトリーのコア・コンピタンスは、「10,000回以上のプログラム作成」「20以上の業種の旋盤加工経験」「10種類以上の材質加工経験」によって培われている。会社創立から約10年の加工点数は、開発案件のみで7,500点以上、その他の小ロットの量産品は延べ3,000点以上にも上っている。また、量産品のうち80%は、試作から関与していることから取引先からの信頼は高い。

タケパーツファクトリーでは、勤務時代を含め、25年以上に亘って難削材を削っている経験とノウハウ、そして、自社開発したデータベースにより最新の加工方法や最適な工具などを速やかに導き出し、「CAD/CAM（自動生成）」と「手打ちのプログラム」の組み合わせにより、NC旋盤加工機的能力を最大限に生かしたプログラムを構築する。「加工プログラム」と「工程設計」は、自社加工に拘ってきたからこそ培われた「知財」の集積であり、競合他社を圧倒し、顧客からの高い評価を得ている絶対的価値である。

時代を先読みした技術開発と、時代に合った情報発信

タケパーツファクトリーは、時代のニーズを先読みし、国内でも10台程度しか保有する企業がない希少な長尺加工設備CNC複合自動旋盤（OKUMA LB4000EX II (MY)）、小規模な加工業者では保有していること自体が稀な5軸複合加工機（OKUMA MULTUS B300II同時5軸複合NC旋盤）や、精密測定器（MITUTOYO CRYSTA-APEX C574・3次元測定器・CNC制御）などを積極的に導入して技術開発に努めている。



難加工を実現する同時5軸複合NC旋盤

また、タケパーツファクトリーでは、小ロット、変量生産にも対応し、最短で当日材料入荷、当日出荷案件など、困りごとの解決実績や難加工の様子・実績をホームページやSNS (Instagram、YouTube等) で、積極的に情報を発信している。Instagramのフォロワーは2,000人を超過しており、それを見た遠方の会社から直接、新規の加工相談をいただくことも多い。



(同社Instagramより転載)

新型コロナウイルスの感染拡大を機に事業を再構築

タケパーツファクトリーが主戦場とする次世代先端技術分野においても、新型コロナウイルスのパンデミックの影響は大きかった。自動車関連を中心に、川下企業の開発動向に変化が生じたため、従来まで強みとしてきた超精密切削技術を活かす機会そのものが減少し、抜本的な打開策を見出せない状態が続いたのだ。

業況が順調に推移していた時には気付かなかったが、既存のビジネスモデルは、受注側では制御不可能な川下企業の開発動向に大きく影響を受けることが、新型コロナウイルスによって顕在化した。

このまま事業環境の変化に対応できなければ、中長

期的には、事業継続すら危ぶまれる状況にある。タケパーツファクトリーでは、このピンチをチャンスに変えるために、コロナ禍での事業機会を見出し、事業を再構築することとした。

町工場の「知」でつくる未来ビジネス！

難削材加工分野の企業が抱える二つの課題を解決

タケパーツファクトリーの得意とする難削材は、高温下でも耐食性が損なわれにくく、強度に優れ、酸化性の強くない酸や海水、塩類にも良好な高耐酸化性・耐クリープ性を発揮する特徴を持っている。人の命に近い場所で使用される素材であり、次世代先端技術が求められる成長市場である。

国内企業における難削材加工分野の課題は、次の二つである。ひとつは、社内・社外を問わず、加工のできる熟練工の高齢化が進んでいること、そして、もうひとつは、手作業・手入力が主流であり、職人の経験知に依存しているため、製造技術がブラックボックス化していることである。そこで、自社が培ってきた加工技術という知財を活かして、これらの課題を解決する事業計画を策定した。

顧客とビジョンを共有し、

新たな価値を共に生み出せる場所へ

タケパーツファクトリーでは、事業計画の策定にあたり、豊橋信用金庫のサポートを受けて、事業再構築補助金(第1回公募)に申請した。事業計画は見事採択され、現在は事業の実施段階に入っている。コア・コンピタンスである難削材・新素材に対する超精密切削加工技術を基盤に、従来の「削る」領域に留まらず、「組み立てる」と「伝える」という新たな領域の事業開発に向けて着実に歩みを進めている。

タケパーツファクトリーは、事業計画を実現することで、「NC旋盤で切削加工の難題を一緒に解決する町工場」から、機密保持を徹底しながら、「顧客とビジョンを共有し、新たな価値を共に生み出せる場所」として生まれ変わろうとしている。自社固有の経営資源である「知財」を活かし、「量をこなす」従来型の製造業とは、全く異なる領域に位置する「価値を生み出す」未来の製造業への進化を目指し、挑戦を続けている。

【豊橋信用金庫 豊川支店・事業支援部】



信ちゃん・とよちゃん

「とよしん」は、ずっとこの街といっしょです。

本店営業部 ☎ (0532) 52-0321 (代)
東支店 ☎ (0532) 54-9221 (代)
井原支店 ☎ (0532) 62-2131 (代)
藤沢支店 ☎ (0532) 46-5311 (代)
三本木支店 ☎ (0532) 48-2235 (代)
牟呂支店 ☎ (0532) 32-8000 (代)
幸支店 ☎ (0532) 37-1211 (代)
大岩支店 ☎ (0532) 41-1011 (代)
一宮支店 ☎ (0533) 93-6511 (代)
新城支店 ☎ (0536) 22-1123 (代)
赤羽根支店 ☎ (0531) 45-3911 (代)
インターネット支店 ☎ 0800-500-1048

小池支店 ☎ (0532) 45-0168 (代)
下地支店 ☎ (0532) 54-1355 (代)
問屋町支店 ☎ (0532) 32-5321 (代)
牛川支店 ☎ (0532) 54-3011 (代)
岩田支店 ☎ (0532) 61-1611 (代)
吉田方支店 ☎ (0532) 32-9000 (代)
中央支店 ☎ (0532) 56-6262 (代)
豊川支店 ☎ (0533) 85-2261 (代)
南大通支店 ☎ (0533) 89-4151 (代)
田原支店 ☎ (0531) 22-2171 (代)
新所原支店 ☎ (053) 577-2221 (代)
お客様相談所 ☎ (0532) 52-0175

二川支店 ☎ (0532) 41-0521 (代)
南栄支店 ☎ (0532) 45-4168 (代)
西支店 ☎ (0532) 32-3575 (代)
岩西支店 ☎ (0532) 63-2882 (代)
向山支店 ☎ (0532) 53-7000 (代)
向ヶ丘支店 ☎ (0532) 25-7101 (代)
東田支店 ☎ (0532) 65-9711 (代)
諏訪支店 ☎ (0533) 84-1311 (代)
小坂井支店 ☎ (0533) 72-5011 (代)
福江支店 ☎ (0531) 32-1245 (代)
湖西支店 ☎ (053) 575-1311 (代)



おたくもうちも

豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579番地
☎ (0532) 52-0321 (代)
<https://www.toyo-shin.co.jp>

